



資料編

1. 安中市の概況

2. 市民による評価・意識の状況

3. 第3次安中市総合計画策定の経過

4. 安中市総合計画審議会

5. 基本計画について

1. 安中市の概況

(1) 市の概況

① 市の沿革

昭和29(1954)年、3町3村が合併して松井田町、昭和30(1955)年、4町4村が合併して安中町が誕生しました。昭和33(1958)年、安中町は市制施行し、安中市となりました。

平成の大合併の流れの中で、平成18(2006)年3月18日に、安中市と松井田町が合併し、現在の安中市が誕生しました。

② 位置と地勢

本市は、群馬県の西部に位置し、高崎市、富岡市、下仁田町及び長野県軽井沢町と接しています。面積は276.31km²で、榛名山や妙義山、碓氷峠を擁する霧積山地などの山々に囲まれ、東西方向に流れる碓氷川と九十九川が市域を潤しています。また、市域東部には丘陵地が広がっています。



(2) 交通

古くは東山道、近世には江戸を起点とする五街道の1つ、中山道が現在の市域を横断していました。中山道は東海道とともに、江戸と京都を結ぶ重要な街道であり、碓氷関所跡や五料茶屋本陣、宿場町のまちなみ、杉並木などが、多くの人々が行き交った当時の面影を今に伝えています。明治時代には急こう配の難所といわれた碓氷峠をアプト式鉄道で越える横川-軽井沢間が開通し、平成9(1997)年まで100年以上にわたって峠を越える重要な公共交通として運行されました。現在は、往時の様子うかがえる碓氷第三橋梁や旧丸山変電所などの関連施設が近代化遺産として保全、活用されています。

このように、本市は古くから交通の要衝としてその機能を果たし続けており、それによって独自の文化が育まれ、現在のまちづくりに継承されています。

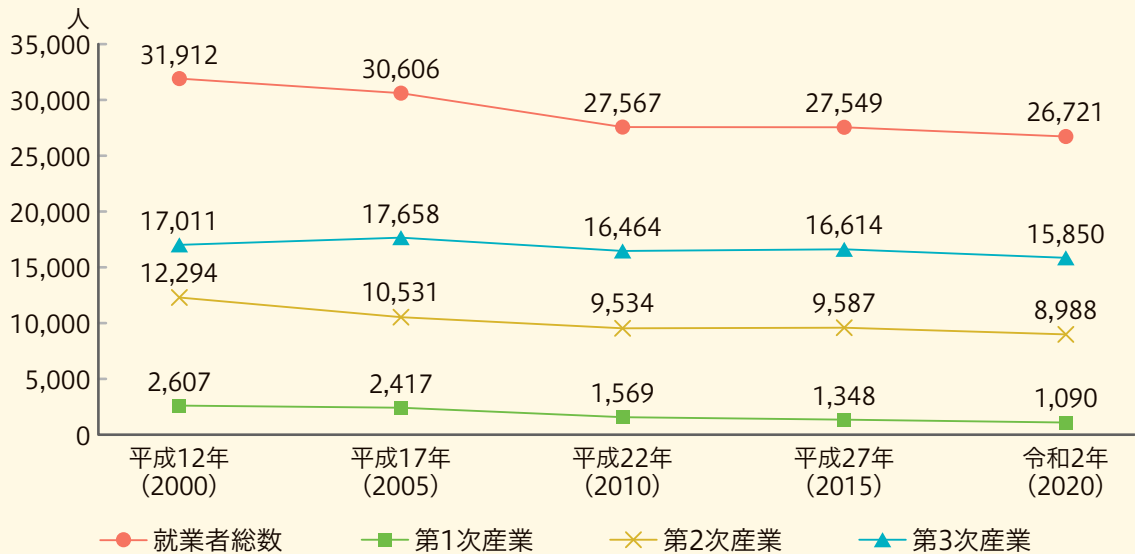
現在は、市域を東西に通る国道18号と、松井田妙義、碓氷軽井沢の2つのインターチェンジを擁する上信越自動車道を軸にした道路網が整備されています。また、前橋方面、富岡方面と本市の都市拠点南北をつなぐ西毛広域幹線道路の整備が進んでおり、道路交通の利便性向上が期待されています。

鉄道は、市内を東西方向にJR信越本線が通り、安中、磯部、松井田、西松井田、横川の5つの鉄道駅があります。また、市域北部には北陸新幹線の安中榛名駅があり、JR信越本線とともに市内の鉄道公共交通を担っています。

(3) 産業

国勢調査によると、本市の就業者総数(15歳以上)は平成12(2000)年から平成22(2010)年までは減少していますが、それ以降はほぼ横ばいとなっています。

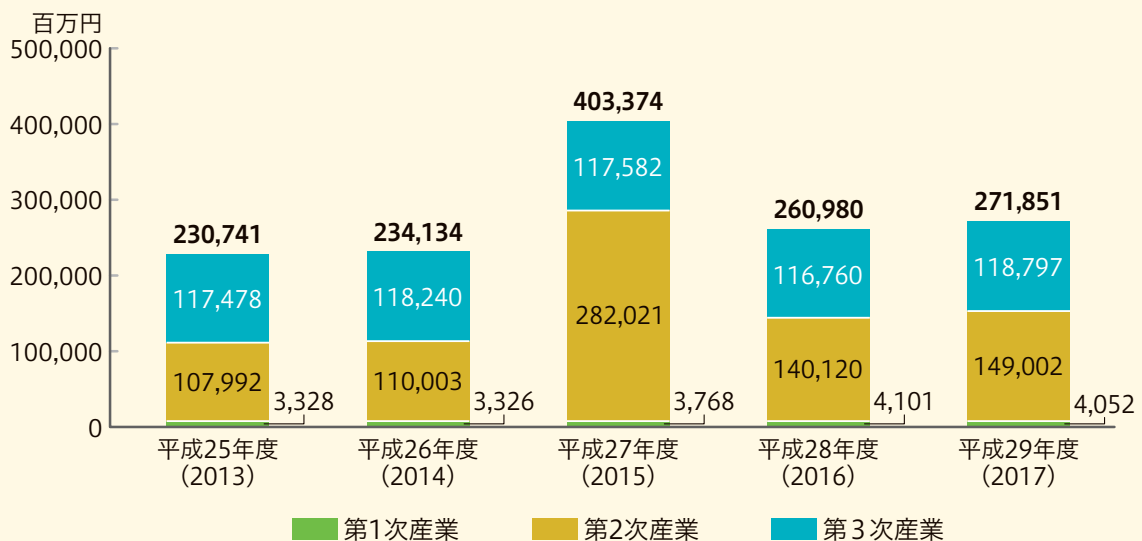
就業者の産業別の内訳を見ると、第3次産業に就業している人が最も多く、第1次産業、第2次産業は、減少幅が大きくなっています。



※ 分類不能の産業を含まない。

資料：国勢調査

市町村の実態やその動向を捉える経済指標である市内総生産額について産業別に見ると、平成29(2017)年度の本市の総生産額は約2,719億円となっています。就業者総数と合わせて見ると、第1次産業や第3次産業と比較して、第2次産業は就業者1人当たりの生産額が高いことがうかがえます。



※ 太数値は総生産額。総生産額は輸入品に課せられる税・関税等を含むため、産業別生産額の合計とは一致しない。

資料：市町村民経済計算(群馬県)

2. 市民による評価・意識の状況

第3次安中市総合計画の策定にあたり、市民の意見を取り入れた計画とするため、市民に対しての意見聴取をさまざまな手段で実施しました。

(1) ワークショップ

① 市民ワークショップ ～安中未来づくりミーティング～

実施概要

- 参加者：地域における活動者、公募市民、若手職員等 16名
- 実施日時：令和5年6月24日

プログラム概要 全1回 (120分間)	安中市の魅力/課題は？
	誰にどのように“選ばれる”まちになったらいい？
	“選ばれる”まちになるためのアクションを考えよう

市民ワークショップの参加者

(敬称略)

No.	所属等	氏名
1	地域おこし協力隊	能代 紘平
2	まちづくり人材バンク	高野 領翼
3	安中市区長会	田中 秀雄
4	安中市区長会	中山 博一
5	(特非) あんなか元気づくり応援団 理事長	宮田 勝次
6	(特非) あんなか元気づくり応援団 事務局長	須藤 俊夫
7	原市小学校 校長	須賀 博之
8	原市小学校 教頭	佐藤 洋子
9	安中市商工会 経営指導員	清水 昌代
10	安中市農地利用最適化推進委員 副委員長	須藤 哲也
11	(一社)群馬県タクシー協会 碓氷安中地区 会長	関口 真理
12	群馬大学 学生	瀧川 萌彩
13	群馬大学 学生	茂木 優幸
14	公募市民	磯貝 俊行
15	市職員	星野 まりの
16	市職員	宮地 諒

市民ワークショップの意見

グループ A

「安中スイーツパーク」をつくり、活気あふれる施設にする

「選ばれる安中市」にするための取組

- ◆ 場所（道の駅）
- ◆ コンテナハウスを活用する
- ◆ 複合的パーク（公園）化、駐車場も含め広さが必要
- ◆ 交通手段の確保

グループ B

「子どもの就学のタイミングで東京から移住してきた一家」を想定

「選ばれる安中市」にするための取組

- ◆ 市内巡回タクシーを実施する
- ◆ 市外から来る創業者への補助
- ◆ 農業体験教室を増やす
- ◆ 磯部温泉の知名度UP
- ◆ 本屋、図書館をさらに充実（民間企業の協力）

グループ C

「第2子検討中の夫婦と子ども世帯」を想定

「選ばれる安中市」にするための取組

- ◆ 夫婦共働きの受皿としての学童の質向上
- ◆ 家族で買い物に行けるショッピングセンター
- ◆ 公園などいろいろな人が集える場を増やす
- ◆ 子ども、高齢者が一人で利用できる公共交通の整備
- ◆ 休日に遊べるスポットを作る

グループ D

「子育て中で、旦那さんはリモートワークを行う一家」を想定

「選ばれる安中市」にするための取組

- ◆ 少人数での手厚い教育をうりにする
- ◆ キャンプ場をつくる
- ◆ 小さい公園をたくさんつくる
- ◆ 企業誘致を推進し、税収を増やす

I

II

III

IV

V

資料編

② 高校生ワークショップ

実施概要

参加者数	各校ワークショップ	
	新島学園高校	8名
	安中総合学園高校	17名
	松井田高校	7名
	共同ワークショップ	
	第1回	26名
第2回	30名	

※参加者については、市外・県外から通う生徒を含め実施しました。

実施時期	各校ワークショップ	
	新島学園高校 第1回、第2回	令和5年5月31日、6月14日
	安中総合学園高校 第1回、第2回	令和5年6月7日、6月21日
	松井田高校 第1回、第2回	令和5年6月9日、6月23日
	共同ワークショップ	
	第1回	令和5年7月25日
第2回	令和5年8月8日	

プログラム概要	各校ワークショップ ※各校ワークショップのプログラムは、3校共通です。	
	第1回（60分間）	安中市の今を考えよう！
	第2回（60分間）	「選ばれる安中市」ってどんなまち？
	共同ワークショップ	
	第1回（120分間）	「選ばれる安中市」にするための
	第2回（120分間）	取組について考えよう！

高校生ワークショップの意見

〈各校ワークショップ〉

「選ばれる安中市」ってどんなまち？

新島学園高校	Aグループ：インスタグラマーな安中市にしたい Bグループ：子育て向きな安中市にしたい
安中総合学園高校	1年生：若者に人気な安中市にしたい 2年生：若者が訪れるような安中市にしたい 3年生：歴史や文化を大切にしたい安中市にしたい
松井田高校	カメレオンな（柔軟性のある）安中市にしたい

〈共同ワークショップ〉

「選ばれる安中市」にするための取組について考えよう！

グループ A	
「大学卒業後、安中市で高校教師として働く一家」を想定	
「選ばれる安中市」にするための取組	<ul style="list-style-type: none">◆ キャンプ場のきれいな風景をインスタ等のSNSにあげる◆ 交通整備しよう（道路をきれいに）◆ 安中市でフォトコンを実施する◆ 子どもがいる家庭向けのイベントを行う◆ 公園の整備 子どもが安全に遊べる場所づくり

グループ B	
「都内在住、旅行中に車が故障し、安中市に立ち寄った一家」を想定	
「選ばれる安中市」にするための取組	<ul style="list-style-type: none">◆ 歴史以外にも楽しめる事・物を充実させる◆ 街灯を増やして夜でも歩きやすくする◆ バスをもっと増やす◆ マップをつくる（観光など）◆ 電動アシスト自転車やキックボードの貸し出し

グループ C	
「松井田在住、安中の学校まで自転車で通学する高校生」を想定	
「選ばれる安中市」にするための取組	<ul style="list-style-type: none">◆ バスの本数を増やす◆ 交通事故を減らすための道の整備◆ 他校との交流の機会を増やす◆ 自然と歴史を大切にする◆ 観光名所、文化財を発信するパンフレット作りやPR動画などを作成

グループ D	
「介護士として働き、夫と子ども2人で暮らす一家」を想定	
「選ばれる安中市」にするための取組	<ul style="list-style-type: none">◆ 道のデコボコを平らにする◆ 交通手段を増やす◆ 商業施設の誘致◆ イベント開催時に学生ボランティアを集める◆ 多目的で使うことができる用地を整備する

グループ E	
「4年前の出産を機に安中市に移住した一家」を想定	
「選ばれる安中市」にするための取組	<ul style="list-style-type: none">◆ 夜道も安心できるよう街灯を増やす◆ 子どもの遊び場を増やす◆ 自然を生かしたキャンプやグランピング◆ 害獣対策をする◆ 観光名所やお店をめぐるツアー

(2) アンケート

① 市民アンケート

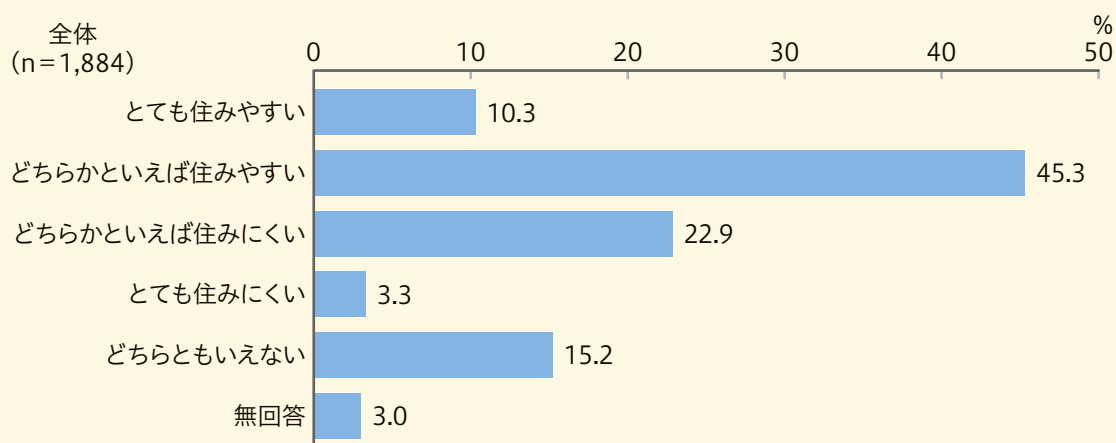
実施概要

(1) 調査対象	住民基本台帳から無作為抽出した16歳以上の市民4,000人
(2) 調査期間	令和4年2月7日～2月28日
(3) 回収結果	回収数：1,884件 回収率：47.1%

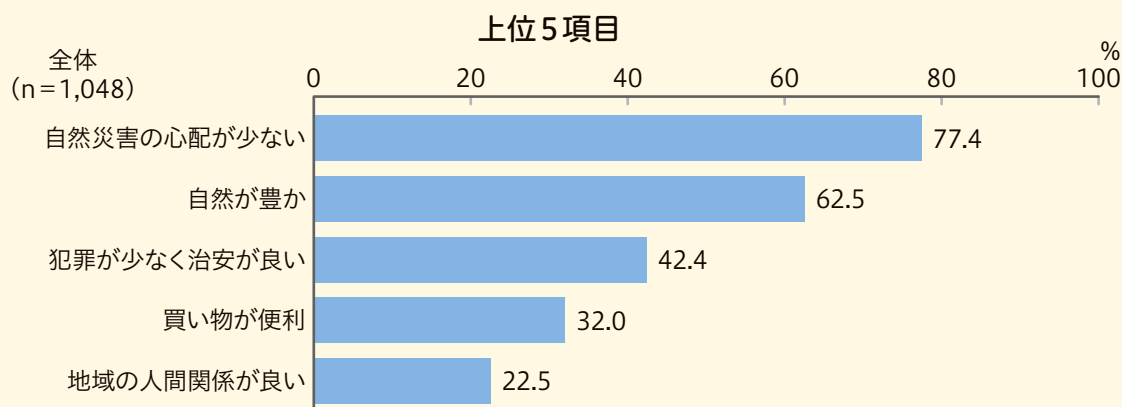
市民アンケートの意見

安中市の住みやすさについて

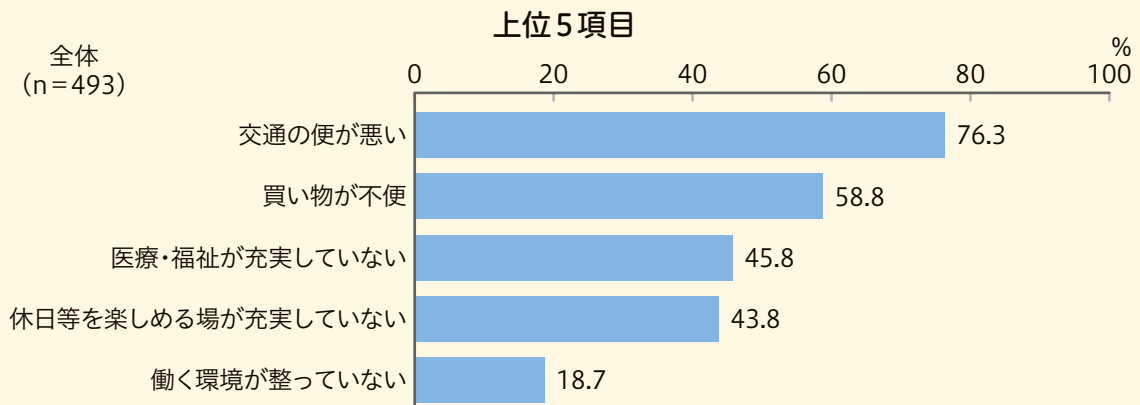
- 「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が55.6%となっています。



- 住みやすい理由は、「自然災害の心配が少ない」(77.4%)が最も高く、次いで「自然が豊か」(62.5%)、「犯罪が少なく治安が良い」(42.4%)となっています。

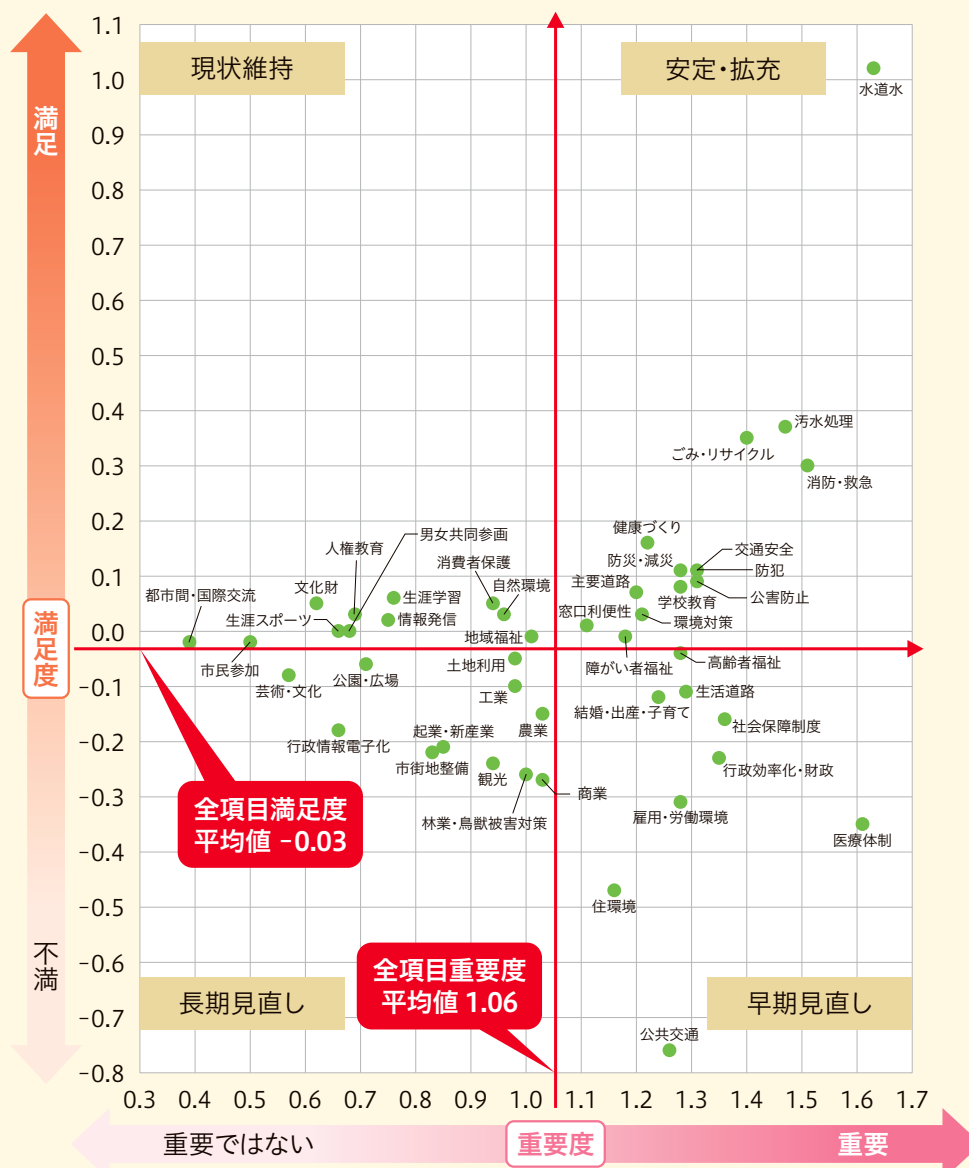


- 住みにくい理由は、「交通の便が悪い」(76.3%)が最も高く、次いで「買い物が不便」(58.8%)、「医療・福祉が充実していない」(45.8%)、「休日等を楽しめる場が充実していない」(43.8%)となっています。



施策の重要度・満足度について

- 重要度が高い一方、満足度が低く、施策の緊急性が最も高いと考えられる分野では、「医療体制」、「公共交通」などが該当しています。



② 高校生アンケート

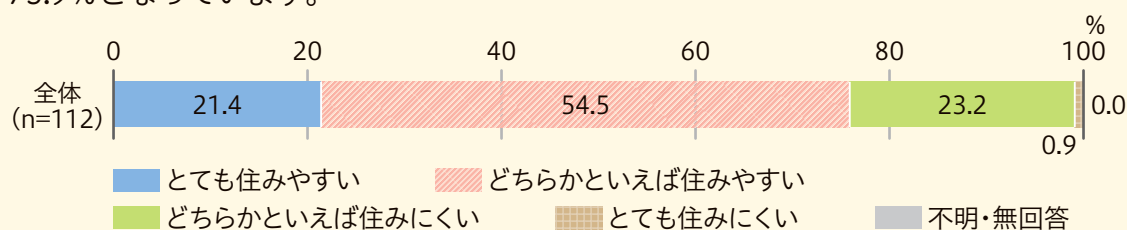
実施概要

(1) 調査対象	市内の高校に通う高校2年生 対象者 465 人 (新島学園高校 / 安中総合学園高校 / 松井田高校)		
(2) 調査期間	令和 5 年 4 月 21 日～5 月 26 日		
(3) 実施方法	インターネットによる回答		
(4) 回収結果	住みやすさ編	回収数：360 件	回収率：77.4%
	行政の取組編	回収数：245 件	回収率：52.7%

高校生アンケートの意見

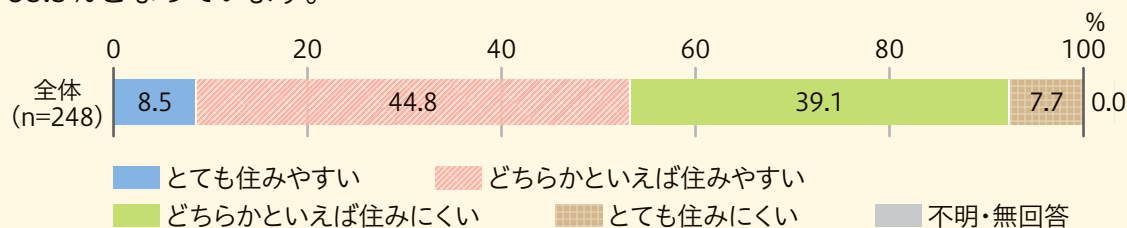
市内在住者の安中市の住みやすさ

- 「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が 75.9%となっています。



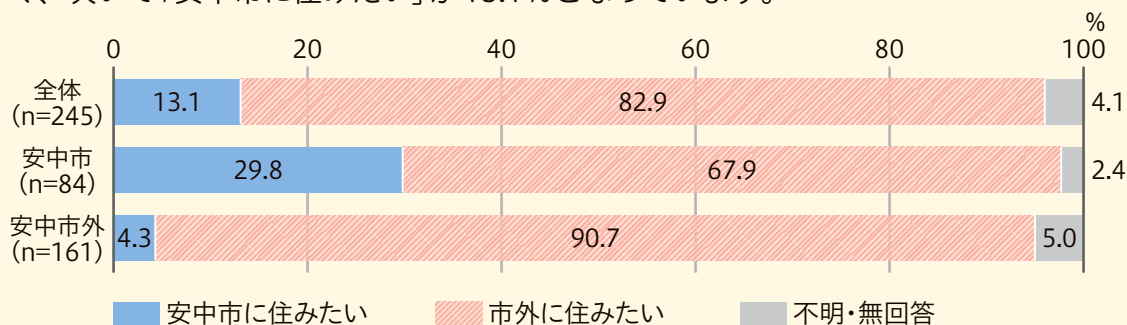
市外在住者のあなたのまちと比べた、安中市の住みやすさ

- 「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が 53.3%となっています。



将来、安中市に住みたいか

- 安中市に住みたいかについてみると、全体では「市外に住みたい」が82.9%と最も高く、次いで「安中市に住みたい」が13.1%となっています。



③ 中学生アンケート

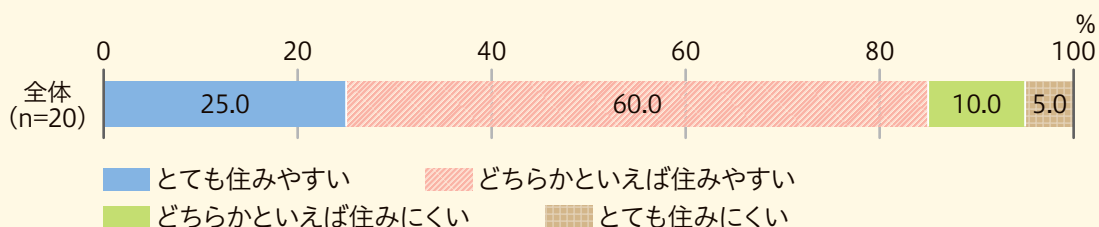
実施概要

(1) 調査対象	市内の中学生（生徒会役員を対象）
(2) 調査期間	令和5年5月12日～6月15日
(3) 実施方法	インターネットによる回答
(4) 回収結果	回収数：20件

中学生アンケートの意見

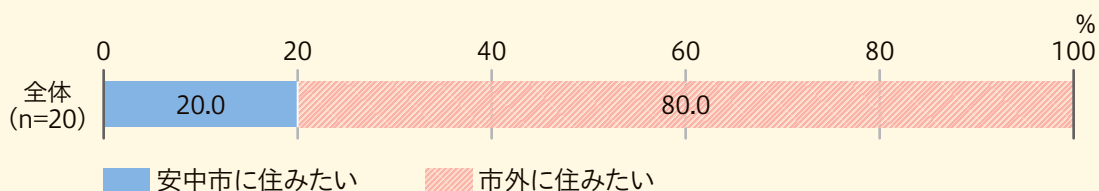
安中市の住みやすさ

- 「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が85.0%となっています。



将来、安中市に住みたいか

- 将来、安中市に住みたいかについてみると、「市外に住みたい」が80.0%で、「安中市に住みたい」の20.0%を上回っています。



安中市に住みたい理由、市外に住みたい理由

安中市に住みたい理由	◆ 住み慣れているから
市外に住みたい理由	◆ 就職や環境にメリットが大きいから
	◆ 休日に遊ぶところがないから、出かけづらいから
	◆ 市外のほうが楽しめる場所が多いから
	◆ 店が少ない地域では買い物をするのに時間がかかる

④ 転入者アンケート

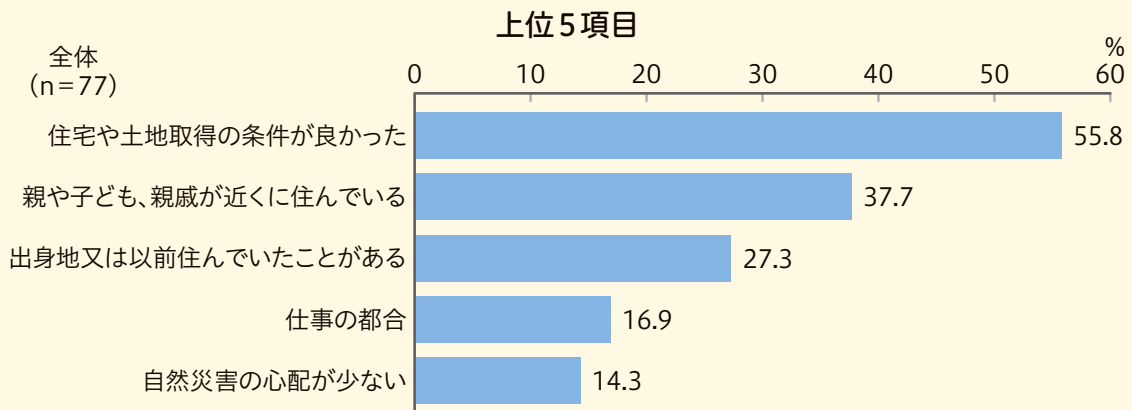
実施概要

(1) 調査対象	市外からの転入者で、令和2年度から令和4年度の間で「住まいりー奨励金」の申請者 169人
(2) 調査期間	令和5年6月1日～6月23日
(3) 実施方法	インターネットによる回答
(4) 回収結果	回収数：77件 回収率：45.6%

転入者アンケートの意見

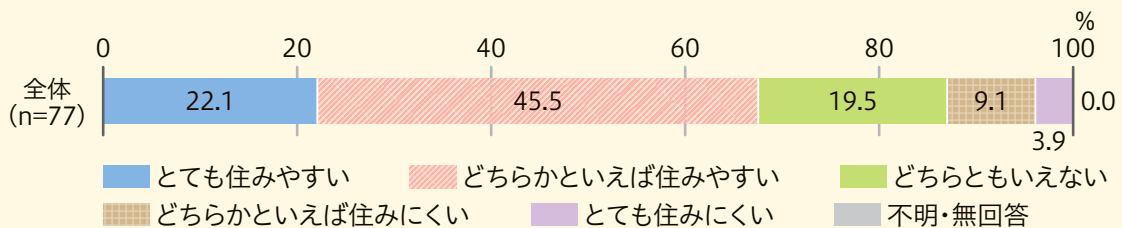
安中市への転入を決めた理由

- 転入を決めた理由についてみると、全体では「住宅や土地取得の条件が良かった」が55.8%と最も高く、次いで「親や子ども、親戚が近くに住んでいる」が37.7%、「出身地又は以前住んでいたことがある」が27.3%となっています。



安中市の住みやすさ

- 「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が67.6%となっています。



市ホームページはこちら

詳細は市ホームページから
ご覧になれます。



3. 第3次安中市総合計画策定の経過

年月日	内容等
令和5年 (2023)	1月18日 市長ヒアリング ▶ まちづくりの将来像、長期ビジョン、第3次総合計画への要望など
	4月21日 ～5月26日 高校生アンケート調査
	5月12日 ～6月15日 中学生アンケート調査
	5月29日 第1回安中市総合計画審議会 ▶ 委員委嘱、会長・副会長の選出、諮問、第3次安中市総合計画策定、安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略との統合の説明など
	5月31日 ～6月23日 高校生ワークショップ開催(各校)
	6月1日 ～6月23日 転入者アンケート調査
	6月24日 市民ワークショップ
	7月25日 8月8日 高校生ワークショップ開催(共同)
	7月31日 第1回安中市総合計画策定会議(庁内組織) ▶ 第3次安中市総合計画骨子(案)の協議
	8月1日 第2回安中市総合計画審議会 ▶ 第3次安中市総合計画骨子(案)の協議
	9月21日 市議会全員協議会 ▶ 第3次安中市総合計画(案)の策定経過について
	10月10日 第2回安中市総合計画策定会議(庁内組織) ▶ 第3次安中市総合計画(案)の協議
	10月13日 第3回安中市総合計画審議会 ▶ 第3次安中市総合計画(案)の協議
	10月16日 第3回安中市総合計画策定会議(庁内組織) ▶ 第3次安中市総合計画(案)の協議
	10月25日 ～11月20日 第3次安中市総合計画策定のための意見募集(パブリックコメント)
	11月24日 第4回安中市総合計画策定会議(庁内組織) ▶ パブリックコメント結果、資料編、概要版の協議
	11月29日 第4回安中市総合計画審議会 ▶ パブリックコメント結果、資料編、概要版の協議
	12月14日 市議会全員協議会 ▶ 第3次安中市総合計画(案)の策定経過について
	12月25日 第5回安中市総合計画策定会議(庁内組織) ▶ デザイン後の総合計画(案)の協議
令和6年 (2024)	1月22日 第5回安中市総合計画審議会 ▶ 第3次安中市総合計画 最終案、審議会答申書(案)の協議
	1月31日 安中市総合計画審議会 ▶ 答申
	3月19日 安中市議会定例会 ▶ 第3次安中市総合計画基本構想決定

4. 安中市総合計画審議会

(1) 安中市総合計画審議会条例

平成18年3月18日
安中市条例第17号

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、安中市総合計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、市長の諮問に応じ、安中市総合計画に関する事項について調査及び審議する。

(組織)

第3条 審議会は、委員24人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係機関の代表
- (3) 市長が特に必要と認める者

(任期)

第4条 委員は、当該諮問に係る審議が終了したときは、解任されるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、関係機関の代表のうちから委嘱された委員は、当該機関の職を辞したときをもって委員を辞したものとみなす。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集する。

- 2 審議会は、委員定数の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、企画政策部政策・デジタル推進課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成18年3月18日から施行する。

附 則(令和3年3月17日条例第5号)

この条例は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和5年3月17日条例第6号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

(2) 安中市総合計画審議会委員名簿

※敬称略

No.	役職	関係機関名等	氏名
1	会長	群馬大学	小竹 裕人
2	委員	高崎経済大学	佐藤 公俊
3	委員	群馬県高崎安中振興局	坂田 達也
4	委員	安中市市長会	萩原 豊彦
5	委員	安中市農業委員会	伏田 再子
6	委員	安中市商工会	矢野 悦子
7	委員	安中市松井田商工会	高橋 正章
8	委員	公益社団法人 安中青年会議所	神宮 克淑 (令和6年1月22日まで)
			浅井 佑介 (令和6年1月22日から)
9	委員	一般社団法人 安中市観光機構	武井 宏
10	委員	安中市都市計画審議会	長野 博一
11	委員	安中市社会福祉協議会	大塚 由紀子
12	委員	一般社団法人 安中市医師会	本多 真
13	委員	東日本旅客鉄道 株式会社 高崎支社	南沢 千春 (令和5年6月22日まで)
			野澤 浩一 (令和5年6月22日から)
14	委員	国土交通省 高崎河川国道事務所	青木 崇光
15	副会長	東日本電信電話 株式会社 群馬支店	緑川 悦子 (令和5年10月13日まで)
			片岡 瞳 (令和5年10月13日から)
16	委員	株式会社 上毛新聞社	井上 章子
17	委員	弁護士	小坂 景子
18	委員	フリーアナウンサー	竹下 裕理

委嘱期間 令和5年5月29日から令和6年3月31日まで

(3) 諮問書及び答申書

安政第 045005 号

令和5年5月29日

安中市総合計画審議会会長 様

安中市長 岩井 均



第3次安中市総合計画の策定に関する諮問について

安中市総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、安中市総合計画に関する下記の事項について調査、審議いただきますよう諮問いたします。

諮問事項

令和6年度を初年度とする第3次安中市総合計画の策定に関する事項について

令和6年1月31日

安中市長 岩井 均 様

安中市総合計画審議会

会長 小竹裕人

第3次安中市総合計画について（答申）

令和5年5月29日付け安政第045005号で諮問のありました、第3次安中市総合計画に関する事項について、当審議会において参加した委員より積極的な発言をいただき、慎重に調査審議を重ねた結果、これから8年かけて目指すまちづくりの指針として、おおむね適切かつ適当であると認めます。なお、計画の推進にあたっては、まちの将来像である「住んで良かった 豊かで魅力ある元気な 新しいあんなか～さらに、光り輝くまちへ～」の実現に向け、下記に掲げる点について十分配慮されることを要望します。

1. 本計画については、市民の目線に立ち、市民の声を取り入れることで、市民とビジョンを共有する計画としている。引き続き、市民や関係団体などへの説明を十分に言い、計画の実現に向け、協働でまちづくりに取り組むよう努めること。
2. 本計画に位置付けられた各種施策については、情勢の変化や市民ニーズの変化に注視しつつ、適正かつ効果的な実施に向け、着実に取り組むよう努めること。
3. 本計画には、「安中市デジタル田園都市構想総合戦略」も含まれている。本計画と「安中市デジタル田園都市構想総合戦略」の施策や事業の実施については、進行管理及び評価・改善を的確に行う仕組みを確立し、計画の適正な進行管理に努めること。
4. 少子高齢化や人口減少など、安中市を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、持続可能な地域社会の構築に向け、本計画を根拠としたまちづくりを推進し、子どもから高齢者まですべての市民が「住んで良かった」と思える安中市の実現に努めること。

5. 基本計画について

(1) 重点プロジェクト、主な事業の概要

重点プロジェクト1 結婚・出産・子育てしやすいあんなかをつくる

施策1 結婚・出産・子育ての支援

事業名	事業概要
結婚支援事業	結婚のきっかけづくりを応援する事業を行う団体に対し補助金を交付する。また、結婚をきっかけに、市内で新生活をスタートする世帯に対し補助金を交付する。
妊婦生活相談事業	保健師の妊婦相談により、安心して出産・子育てができる環境を整える。
保育士確保対策事業	市内保育施設に対し、保育士の人件費を対象に補助金を交付する。
子育て支援センター事業	市内保育施設等において、乳幼児やその保護者の遊びや出会いの場づくりとともに、子育てについての相談、情報の提供や助言などの支援を行う。
副食費無償化事業	公立・民間の保育所、認定こども園、管外施設の利用に係る副食費を無償化とする。
高校生世代まで医療費無料化拡大事業	福祉医療費の助成を高校生世代まで拡大することで、経済的負担の軽減を図り、安心して子育てできる環境を整える。

施策2 仕事と子育てが両立できる環境づくり

事業名	事業概要
学童保育事業	放課後学童保育の運営と保育環境の改善を実施する。働きながら子育てできる環境を整える。
ファミリー・サポート・センター事業	「育児の援助を受けたい人(依頼会員)」と「育児の援助を行いたい人(提供会員)」が会員として登録し、育児の相互援助を行う。
男女共同参画推進事業	男女共同参画に関する意識の啓蒙、ワーク・ライフ・バランスに関する講座などを実施し、女性の社会進出を増やすきっかけづくりを行う。

施策3 特色ある学校教育の推進

事業名	事業概要
GIGAスクール推進事業	ICTを活用した授業改善により個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させる。また、教職員の業務改善を図る。
英語教育指導事業	外国語活動及び外国語の授業を充実させ、児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上と異文化への理解を深める。ALTとの交流事業を通して、多様性のある価値観を醸成する。
校務支援システム再構築事業	教職員が利用するシステムを入れ替えることで、教職員の負担軽減や、質の高い教育、各種情報の連携やICT化の推進を目指す。
松井田学校給食センターでの食物アレルギー対応食提供事業	松井田学校給食センターでの食物アレルギー対策を進め、食物アレルギーを持つ児童生徒にも安全に食べられる給食を提供する。

施策4 学校外での学びの機会の創出

事業名	事業概要
安中プロスポーツアカデミー事業	小・中学生を対象に、プロスポーツ選手による教室を開催し、競技力向上やジュニア選手育成を目指す。
子どもの夢応援事業	さまざまな分野で活躍する著名な講師を招へいし、講演や直接指導を行うことにより、子どもたちの夢を応援する。

重点プロジェクト2 誰もが暮らしやすい未来に向けたあんなかをつくる

施策1 地域の特性を活かした個性あふれる地域づくり

事業名	事業概要
都市計画マスタープラン策定事業	西毛広域幹線道路の全線事業化など環境の変化に対応するため見直しを行う。各種都市計画や、道の駅整備・住宅団地開発・工業団地開発等まちづくり事業の根拠となる。
新駅周辺まちづくり検討事業	鉄道利用状況調査、周辺まちづくり住民意向調査、周辺まちづくりの規模や機能の検討を行う。
安政遠足事業	武士の鍛錬のため始まった日本最古のマラソンを由来とし、現在でも武士などの仮装を楽しみながらゴールを目指す、市の一大イベント。
安中プロスポーツアカデミー事業	(再掲)
子どもの夢応援事業	(再掲)

施策2 市民の暮らしを守る住環境の整備

事業名	事業概要
幹線道路維持整備事業	幹線道路の舗装を計画的に整備し通行の安全を確保する。
防災対策事業	防災対策用備品の備蓄や自主防災組織の支援を行う。安全で誰もが安心して暮らせるまちをつくる。
空家対策推進事業	空家等対策の推進に関する特別措置法、市空家対策条例に基づき、市内に所在する空家等に対し各種施策を実行する。
流域関連公共下水道整備事業	都市計画法による県知事事業認可及び下水道法による県知事事業同意を計画区域下流より順次取得し、下水道整備を進めている。

施策3 市民参加の強化

事業名	事業概要
市民活動団体等支援事業	官民協働によるまちづくりを促進し、NPO・ボランティア活動などを行う団体を支援する。
シルバー人材センター補助事業	高齢者自身が培ってきた知識・技能・経験などを活かし、働くことを通じて社会参加をすることにより、地域社会に寄与する。

施策4 誰もが暮らしやすい福祉・医療の充実

事業名	事業概要
AIを活用した介護予防把握事業	電力量計のスマートメーターにおけるデータを活用し、AIによりひとり暮らし高齢者の心身機能が低下している状態(フレイル)を把握し、早期に介入できる体制を構築する。
医療器械器具等整備事業	医療の質の維持・向上を図り、医療事故を防止するため、耐用年数を超えた医療機器の新規または更新による購入を行う。

施策5 誰もが利用しやすい公共交通の充実

事業名	事業概要
公共交通の市内全域への展開事業	路線バス・乗合タクシーの利用促進を図るとともに、既存路線の改廃、路線の新設などの総合的な見直しにより、多くの市民が利用しやすい公共交通ネットワークの構築を図る。
「新たな移動手段」導入事業	既存の公共交通によらない「新たな移動手段」の導入に向けた取組を地域住民と協働で推進する。
地域公共交通計画策定事業	利用者にとって望ましい公共交通のあり方を明らかにし、あらゆる交通手段を導入し持続可能で利用しやすい交通網を確保するため、実効性のある計画を策定する。

I

II

III

IV

V

資料編

重点プロジェクト3 知って、行きたくなり、住んでみたくなるあんなかをつくる

施策1 地域資源を活かした観光振興

事業名	事業概要
道の駅整備事業	道の駅の整備により、活力ある地域づくりや市内への誘客、地場産品の販路拠点としてにぎわい創出や活性化を図る。併せて、災害時に防災拠点として機能を発揮できるよう防災機能強化を図る。
碓氷峠の森公園整備事業	峠の湯、くつろぎの郷に加え、新たなエリアを整備することにより、市民の利用促進と誘客促進につなげ、碓氷峠地域のさらなる活性化を図る。
富岡市・安中市・軽井沢町 観光連携協議会	地域の風土、歴史、文化及び産業などのさまざまな観光資源を有効に結ぶことで広域観光の周遊性を高め観光誘客を図る。
歴史の道中山道碓氷峠越整備事業	中山道碓氷峠越及び堂峰番所跡などを国指定にし、併せて碓氷関所跡を国指定化する。

施策2 関係人口の創出・拡大

事業名	事業概要
関係人口創出・拡大支援事業	「梅園サポーター」など、市外・県外の人が本市とのつながりを深める事業や団体等への支援を図り、関係人口の創出・拡大を図る。
ふるさと納税促進事業	安中市の魅力や寄附の使い道、地元特産品をPRすることで寄附を募り、市の将来像を実現するための各種施策の推進を図る。寄附を通じて寄附者に本市を知ってもらおうきっかけとする。

施策3 安中市への移住・定住支援

事業名	事業概要
移住支援金事業	市内に移住した東京圏の在住者、通勤者のうち、要件に沿った移住支援金を支給する。
地域おこし協力隊事業	隊員が行う地域力の維持・強化、伝統文化の継承に資するための活動に対しサポートを行う。また、任期を終えた隊員が起業する場合、一定の条件のもと、起業補助金を交付する。
移住定住促進住宅取得支援事業 (マイホーム取得支援金)	安中市内に初めて住宅を建築(購入)する者に対し、要件に沿った奨励金を交付する。
移住定住促進事業	不動産業界、地域おこし協力隊、移住支援員等で構成する協議会を立ち上げ、アクションプランを作成し、移住定住の促進を行う。

重点プロジェクト4 雇用の場を生み出し働きやすいあんなかをつくる

施策1 市内企業への支援や企業誘致の推進

事業名	事業概要
企業誘致推進事業	県企業局や市土地開発公社が造成、分譲した産業用地を取得し、事業を開始した企業に対して、奨励金を交付する。
産業団地整備推進事業	産業団地の整備により、さらなる産業集積を促し、地域経済の持続的発展と雇用機会の創出を図る。
市内企業情報紹介事業	市内の商工業の振興と市内企業への就職支援を目的として、ホームページ等を活用し企業情報を周知する。
高校生市内企業見学事業	市内企業への造詣を深めることにより、地元企業への就職者数を増やし、市内定住者の増加を図る。

施策2 創業や経営改革に対する支援

事業名	事業概要
創業・事業承継相談事業	市内で創業や事業承継を検討している人に対し、関係機関と連携した相談体制を整え、創業による地域活性化と雇用の促進を図る。
創業者支援事業	市内で新たに創業をする人に対し、創業に要する経費の一部を補助し、市内産業の活性化を図る。
店舗等改装助成事業	市内の商店などの店舗改装に係る経費の一部を補助し、地域商業の活性化を図る。
ぐんま技術革新チャレンジ補助金事業	市内の中小企業者が行う新技術や新製品の開発について、県と協調することにより経費の一部を補助し、中小企業者の開発意欲の高揚を図る。

施策3 農業の成長産業化に対する支援

事業名	事業概要
人・農地対策事業 (農業次世代人材投資資金)	認定新規就農者に対する農業次世代人材投資金を交付する事で、自立起業支援を行い、農業者としての定着を図る。
小規模農村整備事業 (農業生産基盤保全整備)	土地改良区の運営支援や、補助金の交付、事業負担金の納付、地権者調整及び農道や農地整備による補助事業などを実施する。
6次産業化支援事業	6次産業化に取り組む農業者及び団体等に対し、商品開発、施設整備等に要する経費について支援を行い、安中ブランドの確立を図る。
地域農産物ブランド力向上事業	農産物ブランドをはじめ、独自の商品開発支援及び販売促進活動支援を行うことで、本市の農産物の付加価値を高める。

重点プロジェクト5 新たな技術で持続可能なあんなかをつくる

施策1 デジタル基盤整備

事業名	事業概要
電子地域通貨導入事業	市民の利便性向上を図り、市内での消費を促すことにより地域内経済活性化を図る。また給付金等に係る事務の効率化を実現する。
電子申請システム更新事業	より使いやすいシステムに更新し、行政手続の申請に係る市民の利便性の向上と職員の業務効率化を図る。

施策2 デジタル人材の育成・確保

事業名	事業概要
DX推進外部専門人材活用事業	安中市DX推進計画に沿って、全庁的にDXを積極的に推進するために、外部専門人材の支援を受ける。
RPA、AI-OCR活用事業	AI等の技術を活用し、定型的な業務の削減を図る。削減された時間は、政策立案や市民への直接的な対応等に充てることのできるため、さらなる市民サービスの向上につながる。

施策3 未来に向けた行財政改革の推進

事業名	事業概要
市政アドバイザー活用事業	地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招へいし、地域独自の魅力や価値の向上に取り組む。
企業版ふるさと納税促進事業	企業版ふるさと納税の制度周知を図り、地域の課題解決に向けた取組を企業と一緒に促進する。
新庁舎建設事業	新庁舎を建設し、安全性の向上と、ワンフロアでの手続完了、バリアフリー、移動の円滑化など市民の利便性の向上を図る。
ネーミングライツ事業	市が所有する施設の名称に、企業名、商品名等を冠した愛称を付与し、スポンサーからその対価を得て、市有施設の管理運営に役立てる。

(2) 基本施策の指標一覧

重点：重点プロジェクト（安中市デジタル田園都市構想総合戦略）に該当する項目。該当するものは●とする。

累計：令和6年度から令和9年度までの期間中の累計（第3次安中市総合計画前期計画）

基本目標	基本施策	指標名	重点	基準値(令和4年度)	目標値(令和9年度)
1 未来を担う 子どもたちが健やかに育つまち	1 少子化対策の推進	婚姻件数	●	120件(令和4年)	150件
		結婚新生活支援事業補助金の交付件数		6件	60件(累計)
		妊婦健診受診率 (受診券使用率)		82.7% (2,659枚/3,216枚)	100%
		産婦健診受診率 (受診券使用率)		83.4% (422枚/506枚)	100%
		乳幼児健康診査受診率		4か月児健診：86.7% 8か月児健診：95.9% 1歳6か月児健診：92.0% 3歳児健診：96.5%	100%
	2 子育て環境の充実	ファミリー・サポート・センター事業の提供会員数(両方会員を含む)	●	93人	100人
		子育てサポーター登録者数	●	52人	72人
		特定教育・保育施設待機児童数		0人	0人
		放課後児童クラブ待機児童数		0人	0人
		スマイルパークの利用者数		75,033人	100,000人
	3 子どもの成長への 総合支援体制の推進	プロスポーツアカデミー実施回数	●	1回	4回(累計)
		子どもの夢応援事業実施回数	●	1回	4回(累計)
		ファミリー・サポート・センター事業の提供会員数(両方会員を含む) *再掲	●	93人	100人
		マイホーム取得支援金子ども加算該当件数		109件	115件
	2 支え合い 誰もが健康長寿で暮らしやすいまち	1 地域福祉の推進	ふれあい・いきいきサロンの実施か所数	●	57か所
2 高齢者福祉の推進			シルバー人材センター会員数	●	407人
		シルバー人材センター利用件数		2,907件	3,000件
		老人クラブ会員数	●	3,475人	4,000人
		介護予防サポーター養成講座受講者数		521人	700人
		認知症サポーター養成講座受講者数		3,732人	4,200人
3 障がい者福祉の推進		障害者就労支援施設から一般就労へ移行した人数	●	5人(令和3年)	12人
		障害者相談支援の利用件数	●	3,601件	3,961件

基本目標	基本施策	指標名	重点	基準値(令和4年度)	目標値(令和9年度)
2 支え合い 誰もが健康長寿で暮らしやすいまち	4 疾病予防・健康づくりの推進	特定健康診査受診率		46.6%	60.0%
		特定保健指導実施率		28.0%	45.0%
	5 地域医療体制の充実	公立碓氷病院医師数	●	17.4人	20人
		公立碓氷病院病床利用人数(1日あたり)		82人	105人
		公立碓氷病院医業収支比率		76.3%	80.0%
	6 社会保障制度の充実	生活困窮者生活支援窓口相談者数		1,292人	1,000人
3 安全・安心で心地よく住み続けられるまち	1 地域の特性を活かした土地利用と市街地の整備	あんなか景観まちづくり賞受賞件数	●	—	17件(累計)
	2 道路交通網の整備	市道改良率	●	29.10%(約474.5km)	29.45%(約480.2km)
		要措置橋梁数		7橋	0橋
	3 公共交通の充実	乗合バス・乗合タクシー利用者数	●	44,097人	47,000人
	4 防災・減災対策の推進	自主防災組織率		36%	45%
		防災士資格取得者数	●	29人	60人
		消防団協力事業所数		0事業所	5事業所
	5 防犯対策の推進	「ぐんま消防団応援の店」登録店舗数		16店舗	21店舗
		出前講座参加者数		104人	120人
	6 交通安全対策の推進	通学路等における防犯カメラ設置台数		—	15台
		交通事故(人身事故)発生件数		237件	200件以下

I

II

III

IV

V

資料編

基本目標	基本施策	指標名	重点	基準値(令和4年度)	目標値(令和9年度)
4 自分らしく 心豊かに暮らせるまち	1 芸術・文化の振興	文化センター自主文化事業 入場者数		600人	1,600人
		文化会館自主文化事業入場者数		148人	900人
		市民フェスティバル来場者数		4,414人	5,500人
		文化財施設入館者数		23,922人	25,000人
		学習の森入館者数		13,567人	25,000人
	2 生涯スポーツの推進	スポーツ事業への参加者数	●	2,163人	9,500人
		スポーツ施設の利用者数		513,904人	525,000人
		プロスポーツアカデミー実施回数 *再掲	●	1回	4回(累計)
	3 小・中学校教育の充実	学校評価の平均点	●	2.6	2.8
		教員アンケートのうち「ICT活用に関する技能」及び「ICTに係る指導」に関する質問	●	A:良くてできる B:できる 71.6%	85.0%
		松井田学校給食センターでの食物アレルギー対応レベル	●	レベル1	レベル4
	4 生涯学習・社会教育の充実、人権啓発の推進	文化センター・文化会館利用者数		113,201人	170,000人
		人権教育・啓発講演会等への参加人数		1,115人	1,550人
		子どもの夢応援事業実施回数 *再掲	●	1回	4回(累計)
	5 都市間交流・国際交流の推進	外国人を対象とした総合窓口における相談件数		29件	80件
		安中市国際交流協会の会員数		個人会員:75人 家族会員:8組	個人会員:100人 家族会員:10組
	6 市民協働・男女共同参画の推進	まちづくり人材バンク登録者数	●	33人	40人
		NPO・ボランティア登録団体数	●	NPO法人:18団体 ボランティア団体:85団体	NPO法人:22団体 ボランティア団体:93団体
		審議会等委員の女性比率	●	32.6% (令和5年4月)	40.0%
		女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業数 (安中市を本社の所在地とする企業)	●	3社 (令和5年4月)	5社

基本目標	基本施策	指標名	重点	基準値(令和4年度)	目標値(令和9年度)
5 豊かな自然を活かし 快適で住みやすいまち	1 低炭素・循環型社会の実現	温室効果ガスの削減		417,000t-CO ₂ (令和2年度)	317,000t-CO ₂ (令和9年度) 355,000t-CO ₂ (令和6年度) *令和9年度時点の公表が令和6年度の実績のため
		市民1人1日あたりのごみ排出量		987g	920g
		再生利用率(ごみのリサイクル率)	●	10.05%	15.11%
	2 環境保全・良好な生活環境の促進	狂犬病予防注射接種率		78.1%	83.0%
		3 公園・広場の整備	都市計画区域内1人あたりの都市公園面積		8.68㎡
	4 住環境の整備		空家リフォーム事業費補助金の交付件数		2戸 (平成29年～令和4年)
		空き家の除却戸数	●	50戸	280戸(累計)
		木造住宅耐震化戸数		9戸 (平成23年～令和4年)	4戸(累計)
		市営住宅の改修戸数		64戸 (平成26年～令和4年)	332戸(累計)
	5 安全で安定した水道水の供給	管路更新率		0.54%	0.75%
		配水池の耐震化率		1.79%	6.10%
		スマート水道メーター設置数(検針数)		10基	300基
	6 適切な汚水処理	汚水処理人口普及率	●	63.5%	71.6%

I

II

III

IV

V

資料編

基本目標	基本施策	指標名	重点	基準値(令和4年度)	目標値(令和9年度)
6 経済が活性化し 元気で 魅力にあふれるまち	1 商工業の振興	市内事業所数	●	2,289事業所 (令和3年)	2,300事業所
		年間商品販売額		58,262百万円 (令和3年)	70,000百万円
		製造品出荷額等		324,305百万円 (令和3年)	400,000百万円
		従業員数	●	23,672人	24,300人
		企業誘致件数	●	0件	4件(累計)
		企業誘致による新規雇用者数		0人	50人
		市外からの進出企業数		0件	2件
		起業・創業相談者数	●	19人	25人
		ぐんま技術革新チャレンジ補助金件数	●	3件 (平成30年~令和4年)	10件(累計)
	2 雇用対策の推進	有効求人倍率(一般)		1.51倍	1.20倍
		高校新規卒業者の就職内定率 (市内の高校から市内の企業)	●	100%	100%
		障害者雇用率(民間企業)		2.23%	2.70%
		障害者就労支援施設から一般就労へ移行した人数 *再掲	●	5人(令和3年)	12人
	3 農業の振興	認定農業者数	●	72人	96人
		認定新規就農者数	●	9人	20人(累計)
		耕作放棄地解消対策補助金の交付件数		0件	10件
		6次産業化支援件数	●	2件	5件(累計)
		農業産出額		5,460,000千円	5,900,000千円
		農地中間管理機構を利用した農地集積面積		902,227㎡	1,350,000㎡
		遊休農地面積割合		0.135%	0%
	4 被害対策の推進 林業の振興、鳥獣	森林経営計画面積		343ha	360ha
		農林業鳥獣被害額		3,863千円	3,476千円
	5 観光の振興	市内観光地における観光客数	●	987,351人	1,500,000人
		着地型観光ツアー体験者数	●	1,295人	2,000人
	6 移住・定住の促進	人口の社会増加数 〔「転入者数」-「転出者数」〕	●	64人	130人
		地域おこし協力隊		3人	5人
		マイホーム取得支援金交付件数 ()内は、うち市外からの転入者	●	187人(85人)	200人(100人)
空き家バンクの契約件数		●	22件	200件(累計)	

基本目標	基本施策	指標名	重点	基準値(令和4年度)	目標値(令和9年度)
7 市民のための健全な行政運営と市の魅力向上	1 効率的で健全な行政運営	経常収支比率	●	92.5%	88.0%以下
		ふるさと納税件数		11,939件	50,000件
		ふるさと納税金額	●	224,788千円	700,000千円
		企業版ふるさと納税件数		12件	15件
		企業版ふるさと納税金額	●	5,300千円	8,000千円
	2 自治体DXの推進	電子地域通貨決済額	●	—	180,000千円
		ぴったりサービス利用可能事業数		0事業	25事業
		電子申請関連(オンラインで可能な行政手続件数)	●	53件	150件
		RPA利用事業数	●	7件	12件
		AI-OCR利用事業数	●	20件	30件
	3 情報発信の強化	市ホームページへのアクセス件数		3,126,100件	4,000,000件
		市公式LINE登録者数		1,642人	5,000人
		オープンデータ登録件数	●	11件	30件

I

II

III

IV

V

資料編

あんなか まちづくりビジョン2024
第3次安中市総合計画

住んで良かった 豊かで魅力ある元気な 新しいあんなか
～さらに、光り輝くまちへ～

令和6(2024)年3月発行

発行：安中市

編集：安中市 政策・デジタル推進課

〒379-0192

群馬県安中市安中1-23-13

TEL：027-382-1111

FAX：027-381-0503

URL：<https://www.city.annaka.lg.jp/>

